

多文化共生社会構築委員会		理事委員長 櫻井聖
(1)基本方針		
<p>近年、このまちに住む在留外国人数が急増し共に生活しております。静岡市では文化の違いを乗り越え、個々ではなく協働し住みやすいまちづくりを外国の人々と共にすることが、今後のまちの発展に大切な役割を持つ時代を迎えております。それは、静岡青年会議所においても外国の多文化を理解し、手を取り合い運動していくことでまちの活性化に携われ、寛容性のある人財となり国際化に取り組む好機です。</p> <p>本年度、当委員会では、このまちの一人ひとりが、多文化を知り、尊重し合い、絆を深め、多文化共生の一步を踏み出し、このまちに住む外国の人々と一緒に、まちづくりをする関係の構築を目指します。また、会員が世の中の事柄を見開きして広い知識を得ることで寛容力の向上を図ります。</p> <p>はじめに、関係諸団体やメディア等に今まで以上の理解と関係を得るため、本年度の国際化に対する意識を発信し、協働体制への一步を踏み出します。そして、会員が国々の文化を知るため、多文化の体験し、お互いを尊重できるきっかけをつくります。さらに、会員が外国の人々と絆を深め、共生できるまちづくりの一步を踏み出すため、外国の人々から生活に関する諸問題について発表する場をつくり、関係諸団体と共に解決に向かうための運動や発信をして、地域社会の一員として働きやすく住みやすいまちを外国の人々と協働で創出し、自らが創るといった強い責任感と確かな使命感をもち、自己の意識変革を行います。</p> <p>本年度の運動により、今まで以上に関係諸団体の国際理解が高まり、協働体制が生まれ、多様な情報が会員の一人ひとりの財産となり文化を尊重する心が養い国際理解が深まります。また、このまちに、共に住む外国の人々が静岡市の良さを実感し、自国の仲間と共有し、このまちに住む外国の人々や観光する外国の人々が増え、国際化が進みます。そして、外国の人々との共生が静岡市の発展の一翼を担い魅力ある豊かでワクワクするまちづくり、そして「胸が高鳴るSHIZUOKA」の創造につながると確信します。</p>		
(2)年間スケジュール		
月	日程	事業内容
1	15日(水)	1月度第一例会(賀詞交歓会)
2		
3		
4		第47回JC青年の船「とうかい号」結団式
5		多文化共有事業
6		
7		
8		多文化共生社会事業
9		
10		
11		
12		
(3)事業内容		
1	1月度第一例会の企画・運営	
2	多文化共有事業の企画・運営	
3	多文化共生社会事業の企画・運営	
4	第47回JC青年の船「とうかい号」内地支援活動	
5	SDGsの認知度向上に向けた運動の推進	
6	会員の拡大 3名	
7	第47回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集 2名	
8	広報活動への協力	
9	各事業・地域事業への参加・協力	
10	公益社団法人 日本青年会議所への参加・協力	
11	公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会への参加・協力	
12	公益社団法人 日本青年会議所 東海地区 静岡ブロック協議会への参加・協力	